

令和3年度 栃木県立宇都宮中央女子高等学校 自己評価及び学校関係者評価

1 自己評価

今年度の重点目標
1 確かな学力を身につけた人間性豊かな生徒の育成
2 進路実現を目指したキャリア教育の充実
3 生徒の学びを支える魅力ある教育環境づくりの推進

重点目標の具体的努力点
¹ ① ICTの活用や、主体的・対話的で深い学びの実践など、授業や指導方法の工夫改善により、生徒の自ら学ぶ態度の育成と学力の伸長を図る ② 学校生活全体を通して生徒の気力、体力を充実させるとともに、品位ある生活態度を涵養し、知・徳・体の調和のとれた成長を促す ③ SDGs等の今日的課題に主体的に向き合おうとする姿勢を育むことを目指し、グローバル教育を推進する
² ① 自己の在り方生き方について考えさせ、社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成する ② 3年間を見通し、個に応じた指導を充実させ、進路選択への主体性・積極性を醸成する
³ ① 安全・安心な学校づくりを目指し、生徒の状況の把握と感染症予防、施設設備等の適正な維持管理、校舎内外の美化に努める ② 教育活動に支障を来さないよう配慮しながら共学化に向けた諸準備を進めるとともに、関係者への広報活動に努める ③ 効率的で効果的な校務遂行に努め、学校における働き方改革を推進する。

(1)各部、学年、教科による取り組み

重点目標(具体的努力点)について、特に関連・取り組んだ項目についての自己評価。

			評価								
			A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった								
部学年教科	各部学年教科の努力目標↓	重点目標の具体的努力点→	重点目標1			重点目標2			重点目標3		
			①	②	③	①	②	①	②	③	取り組み・達成状況等
部	学習	○能動的に学ぶことができる環境を整え、生徒の潜在能力を引き出す ○将来を見据えた学習指導の在り方を整備する	B		A		B		B		・令和4年度スタートの単位制、観点別評価についてある程度見直しをつけることができた。 ・コロナ禍のグローバル教育は今後の検討課題である。 ・ICTを活用した授業を深化させるには、環境(Wi-Fi)整備が必要である。
	生徒	○節度ある生活態度の育成 ○交通事故防止(特に自転車事故防止) ○教育相談の充実		B	B	B	B	B	A	B	・新校開校に向けて着々と準備を進めることができた。 ・自転車通学者の交通事故が発生してしまった。交通規範意識の定着に向けて問題点を改善していきたい。 ・教育相談係の担当者により、きめ細かい教育相談体制の構築ができたと考える。
	特活	○学校行事の適切な運営 ○部活動の奨励と充実、及び、部室・活動施設整備の管理の徹底	B	B	B	B	B	B	B	B	・学校行事を適切に運営し、特に文化祭への取り組みのなかでSDGs、ふるさとの魅力度向上と関連づけて各企画を考えることができた。 ・部活動を通して本校生としての矜持を、持つとともに、品位ある生活態度を身に付けた。
	健康	○生徒を通して健康な生活を送るための知識の習得と実践するモデルを養う ○積極的に運動を実践し、健康な生活を送る態度を育成する ○災害や感染症に対する意識を高め、安心・安全な生活を送る態度を育成する		B		B		B	B	B	・感染症に対する意識を高め、安心・安全な生活を送る態度を育成した。 ・不登校(学校不適応者)の増加により、一層職員間の連携を密にし対応していかなければならない。
	進路	○生徒の主体的なキャリア学習を促すと同時に、生徒が安心して自主的に取り組める校内環境を整備する ○新しい大学入試を見据えて、生徒の学力を十分に伸張させると同時に、学習外活動での意欲と実績を活用できる受験体制の確立を図る				B	B				・コロナ禍で対応が難しかったが、各種講演会、大学出張講座、大学進学説明会は実施でき、生徒の視野を広げることに貢献できたと思われる。
	環境	○清掃への取り組みの徹底 ○美化意識の高揚 ○ゴミの減量の推進		B		B		B			・美化作業・清掃活動を通して校舎内外の美化に努め、生活環境を自ら整える姿勢を育むことができた。
	教務	○教育課程の適性実施、及び、授業時数の確保 ○校務運営の協同化及び効率化の推進 ○情報の管理・活用の強化	A					B	B	B	・教育課程については各教科で十分に時間をかけて検討を重ね決定した。祝日についても、バランスが均等になるように調整を図った。 ・GIGAスクール構想で配備されたタブレットについても様々な場面で活用されつつある。校務支援システムについては移行中であるが令和4年度からの運用に間に合わせたい。
	渉外	○同窓会・PTA、校外諸団体との連携を密にし、生徒の学習環境の充実に寄与する。無理のないPTA活動に取り組む ○会計関連業務の円滑で確実な実施に努める		A				B	A	A	・コロナ禍、校内工事の状況下、やれることを工夫して行えた。
学年	1学年	○好ましい生活習慣の確立 ○学習習慣の確立 ○進路意識の喚起	B	B	B	B	B	B	B	B	・スケジュール帳やスタディーサプリなど自学自習の態度の涵養を図れた。 ・文理選択を自身の進路目標に即して考えさせた。 ・SDGsの学習にパソコンと連動した調べ学習を実施できた。
	2学年	○好ましい生活習慣の確立 ○学習習慣の確立 ○進路意識の喚起	B	B	B	B	B	B	B	B	・修学旅行において、SDGsや地域活性化の視点から様々なことを観察した。 ・3年間を見据え、第2学年では必要な力を養うべく、個に応じた様々な働きかけを行った。 ・早朝、昼休み等に面談を行い、時間の使い方を工夫した。
	3学年	○自らを律する姿勢の涵養 ○進路実現に向けた学習指導の充実 ○進路実現に向けた進路指導の徹底	B	B	B	B	B	B	B	B	・スケジュール帳や自習教材を利用させ、自律する姿勢を持たせることができた。 ・共通テストに向けて、考える力を身につける授業を実践できた。 ・担任、進路指導部だけでなく、外部から講師を招き生徒に刺激を与えることができた。
教科	国語	○学習の習慣化を促し、主体的に学ぶ態度を育み、学力の向上を図る ○思考力・判断力・表現力を向上させる	A	B	B	B	B		B	B	・電子黒板等を活用した授業を行うことが増えた。教科内で情報共有し、一層効果的なICTの活用方法を考え、授業改善に取り組みた い。
	地歴 公民	○多様な手法を用いた思考力・表現力・判断力を育む授業の展開 ○基礎学力向上に努め、発展へつなげる学習を促す	B		B				B		・各教科担当者同士で授業展開などについて情報を共有しながら、向学心・思考力・表現力の向上を図った。 ・現代社会の諸課題について触れる時間を確保し、将来について考えると共に、グローバル的視野の育成に務めた。 ・共学化に伴う新課程の実施に向け、情報収集と共に多様な授業展開について協議をした。継続的に行っていきたい。
	数学	○基礎学力の向上を図る ○進路実現のための学力向上に努める	B	B		B	B		A	B	・各学年習熟度別授業を実施、少しずつ成果は出てきてはいるが、下位層の底上げが課題。観点別評価の研究を継続していく。電子黒板の活用を視野に入れた授業を工夫していく。
	理科	○基礎学力の向上を図り、科学的思考力を育成する ○大学などの他機関との連携を積極的に図り、生徒の自然科学に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上に努める	A		B		B	B			・電子黒板やプロジェクターを利用することで情報を視覚化し、理解しやすい授業展開につながった。 ・SDGsやコロナなど今日的課題を取り入れ、授業と関連づけながらそれらに関する科学的な知識や探究する力を養うことができた。 ・コロナ感染防止のために実験前後の消毒を徹底できた。安心・安全な実験を行なうため事前準備を計画的に行なった。
	保健 体育	○生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続できる資質や能力を向上させる ○健康・安全についての理解を深め、日常生活で実践できる知識や技能を習得する	B	B				B	B		・体育の授業で身体を動かすことを通してコロナで塞ぎがちな気持ちを晴らし、気力・体力の充実を図った。 ・授業の活動において感染リスクを理解させ自らリスクの低い行動を取ることができる力を養った。 ・活動場所や騒音などいくつかの障壁があったが、新体育館の設備充実や新しい体操服の企画などの諸準備を進めた。
	芸術	○基礎的な知識、技術・技能の定着を図る ○生涯にわたり芸術を愛好する心情を養う	B	B		B					・ベア学習を取り入れたところ、課題解決のスピードが上がり、基礎力が向上した。 ・用具、楽器等を丁寧に扱う意義を伝え、物事に向き合う姿勢を伝えた。 ・時代と芸術との関わりについて学ばせることで、人としての在り方、生き方を考えさせるきっかけを与えた。
	英語	○授業を中心とした指導展開に努め、基礎学力の定着を図る ○個に対応した指導の充実	A	B	B		B			B	・電子黒板等を活用した授業を行うことが増えた。教科内で情報共有し、一層効果的なICTの活用方法を考え、授業改善に取り組みた い。 ・SDGsに関連ある教材を取り上げ、意見交換やエッセイ作成等理解を深め考察する授業を展開できた。 ・教科内の共通理解を図り、授業や課題また外部試験等生徒へよりよい物を提供する取り組みができた。
	家庭	○普通科生徒に対しては、社会の諸課題を捉え、より豊かな家庭生活や地域社会を創造する能力と実践的態度・技術を養う ○総合家庭科の生徒に対しては、家庭に関する専門的な知識と技術を体験的総合的に習得させ、それらを生かして社会の諸課題を改善する力を養う	B		A	A	A	B			・普通科においてはホームプロジェクトを通して、また総合家庭科では被服材料の残りを利用した実習やフードロスをテーマとした調理実習など、SDGsの視点を盛り込みながら指導し生徒の意識が高まった。 ・総合家庭科では、各分野の専門家を招いて講座を実施し職業人としての姿勢やプロの技を学ばせることができた。インターンシップも実施でき大変有意義であった。
	情報	○情報と情報技術に関する適切な活用と主体的に参画する態度を養う ○基本的な知識・技術の習得と個々の生徒に応じたより高い技術を身につけさせる	B			B		A			・コロナ感染症防止のためパソコン室使用前後の消毒を徹底できた。個々の技術に応じて進められるような教材を用意し、自ら進んで学べるよう工夫した。

(2)生徒・保護者アンケート結果分析

○学習・進路に関する項目は概ね8～9割の肯定的評価を得ている。今後は自ら学ぶ態度や社会の課題に向き合う姿勢の醸成や、個に応じた指導の充実を図りたい。
○安全・健康・生徒指導に関する項目について、校舎内外の美化活動は高評価で、本校の環境美化指導の成果がうかがえる。いじめに関する項目については、学校としては「いじめアンケート」や個別面談等できめ細かい対策を行っているが、引き続き努力が必要である。
○特別活動に関する項目では、部活動や生徒会活動の充実が9割以上の肯定的評価で、全項目中最高評価である。学校行事については、コロナウイルスの影響による中止などがあり、評価に響いたと思われる。
○ICT活用については、設備環境の整備、活用方法ともに一層の充実・研究が必要である。
○生徒・保護者への相談体制については、学年が上がるにつれて高評価になっている。引き続き信頼関係の構築に務めたい。
○情操と品位の醸成について8割以上の肯定的評価を得ている。
○本校の総合的な満足度については、生徒・保護者ともに9割以上であるが、全員が肯定的評価になることを目指したい。
○保護者の「わからない」という回答の多いものについては、折に触れて情報提供や説明が必要であろう。

(3)重点目標に対する総合評価(努力点ごと)

重点目標1
①概ね達成できたと考えられる。ただし、ICTの活用については、環境整備の充実と同時に活用法の研究が必要である。また、来年度からの新教育課程や単位制に向けて、一層の授業力・指導力の向上に努めたい。
②概ね達成できたと考えられる。新校においても情操豊かな人間の育成が教育目標になっており、今後もあらゆる教育活動において、人間性豊かな生徒の育成を意識して指導を続けたい。
③生徒アンケートより、「SDGs」や「社会の課題」という意識が浸透していることがわかった。部、教科、学年と様々な場面で取り組みがなされており、今後もよりよい指導法を研究していきたい。
重点目標2
①概ね達成できたと考えられる。「自己の生き方」「自立」に向けた指導については、折に触れてあらゆる場面でなされるものであり、今後も全職員が意識して指導にあたりたい。
②概ね達成できたと考えられる。「進路選択への個に応じた指導」については学年、教科はもとより、生徒との様々な関わりの中でなされているが、今後もきめ細かい指導を心掛けたい。
重点目標3
①安心・安全は教育活動の土台であるため、その確保と安全・健康意識の高揚に一層の努力をしたい。いじめに関しても、引き続き、きめ細かい指導の徹底と、相談体制の周知に努めたい。
②各部所で、共学化の準備を進めながら、通常教育活動を遺漏なく行うよう努力をした。また、20校以上の中学校で説明会をするなど、広報活動も行い、本校志願者の倍率も高倍率となった。目標は達成できたと考える。
③各部所で校務の効率化、精選の努力をしている。しかしながら、働き方改革や効率的な組織運営に課題があるという教員の声も多く、各教員が多忙な状況にあることがうかがえる。通常業務に加えて新校準備を進めている状況で、改善が進みにくい現状があるが、よりよい教育活動を行うためにも、引き続き業務の精選や学校組織の強化、新校に向けた職員の意識の共有が不可欠である。

2 学校関係者評価及び評価結果に基づく今後の改善方策等

主な御意見
○新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、様々な教育活動が実施されていることに感謝する。
○学習実態調査からコロナによる生活の変化が、生徒へも影響を与えているようにみられる。今後とも生徒の支援をお願いしたい。
○進学に重点を置く単位制を活用し、引き続き進路実現に向けた指導を継続してほしい。
○学校評価アンケートからも先生方の日頃の指導の成果がうかがえる。中央女子高・中央高校ともに素晴らしい新年度となることを期待する。

今後の改善方策等
○授業・指導方法の工夫改善やICTの活用にも努め、多様な学びの充実を図る。また、学校行事等の特別活動も可能な限り充実を図り、人間性の育成に努める。
○宇中女高生・宇中高生ともに進路実現が達成されるよう、学習指導・進路指導体制の強化に取り組む。
○コロナ対策をはじめ、環境整備、個々の生徒への支援等、きめ細かな取り組みを行い、安心・安全な学校づくりを行う。
○新たな学校づくりの意識を共有し、学校組織の強化、業務の精選に努める。